

整理番号 2024M-018

補助事業名 2024年度 ファインセラミックスに関する国際標準化推進 補助事業

補助事業者名 一般社団法人 日本ファインセラミックス協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国際規格制定の初期段階から日本の意見を反映させ日本に有利な国際規格の策定を主導するため、戦略立案・規格開発の進め方の検討・規格内容精査等を実施し派遣者の意思統一を図る幹事国業務委員会、国内委員会を開催すること、またISOが主催する各WGミーティングにて国内委員会で検討した戦略に基づき議論を行った専門家を支援することを目的とする。同時に国際標準化活動に関する啓蒙活動を実施する。

(2) 実施内容

<https://www.jfca.net.or.jp/pdf/04300584/01481815/0103/028/081E3814E36A83540B18B87E090.pdf>

① 幹事国業務委員会・国内委員会の開催

ISO/TC150/SC7 及び ISO/TC206 幹事国業務委員会とISO/TC150 及び ISO/TC206国内委員会を下記の日程で開催した。

委員会	第1回 TC150/SC7幹事国業務委員会
日時	令和6年7月29日（月） 13：30～15：00
場所	くるまプラザ 及びTeamsによるWeb会議
出席者	14名
議題	(1) 挨拶 (2) 前回委員会の振り返り (3) TC150/SC7活動報告 (4) 各WGの活動報告 (5) 個別テーマの活動報告 (6) リエゾンTC276活動報告 (7) その他

委員会	第1回 TC150国内委員会
日時	令和6年7月29日（月） 15：15～17：15
場所	くるまプラザ 及びTeamsによるWeb会議
出席委員	26名
議題	(1) 挨拶 (2) 前回委員会の振り返り

	(3) TC150活動報告 (4) 個別テーマの活動報告 (5) その他
--	--

委員会	第2回 TC150/SC7幹事国業務委員会 TC150国内委員会 合同開催
日時	令和6年11月28日（木） 14：00～17：00
場所	くるまプラザ 及びTeamsによるWeb会議
出席者	28名
議題	(1) 挨拶
	(2) TC150総会及び各SC/WG報告
	(3) その他

委員会	第1回 TC206幹事国業務委員会/国内委員会
日時	令和6年8月9日（金） 13：30～16：30
場所	くるまプラザ 及びTeamsによるWeb会議
出席者	27名
議題	(1) 挨拶
	(2) TC206活動状況報告
	(3) 規格開発テーマ活動報告
	(4) 各WGの活動報告
	(5) パリ総会に向けて
	(6) その他

委員会	第2回 TC206幹事国業務委員会/国内委員会
日時	令和6年12月9日（月） 14：00～17：00
場所	くるまプラザ 及びTeamsによるWeb会議
出席者	27名
議題	(1) 挨拶
	(2) TC206活動状況報告
	(3) 規格開発テーマ活動報告
	(4) 各WGの活動報告
	(5) 個別課題の情報共有
	(6) その他

②ISOウェブミーティングへ参加したエキスパートへの支援

ISO/TC150及びISO/TC206下にある各SC/WG主催で開催されるウェブ会議での議論に参加し、国内委員会で検討した日本の戦略を反映する活動を行ったエキスパートに対する支援を実施した。

③標準化講演会開催

国際標準開発の啓蒙活動として、毎年標準化講演会を開催している。本年は経済産業省西川課長、法政大学糸久教授、IDEC株式会社藤田顧問をお招きし、講演をいただいた。講演案内は下記の通り。参加者は50名にのぼり、例年以上の注目を集めることができた。

2024年度 JFCA 標準化講演会 開催のご案内

「攻守で使える国際標準～経営戦略から見る標準化～」

カーボンニュートラルやデジタル化、SDGsなど、社会ニーズや産業構造の急速な変化に伴い、国際標準の在り方も変化しています。欧州、米国、中国、韓国はそれぞれの強みを生かした戦略的な行動を起こしており、日本の産業界における国際標準化戦略がより強く問われる時代となってきました。

とは言うものの、特に民間企業において、国際標準がもたらす効果に対して疑問を抱かれていたり、もしくは全く無関心でいたりという方も多いのではないのでしょうか。そこで今年度は、国際標準によって市場シェアが左右した具体例と共に、政府、大学、企業という異なるスタンスから、「経営戦略から見る国際標準化」というメインテーマのもと各講演を頂きます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時 : 2024年12月13日（金）13:30～17:00

講演 : ①経済産業省 国際標準課 課長 西川 奈緒 様

「なぜ、経営戦略上「標準化」が重要なのか」

②法政大学 教授 糸久 正人 様

「競争優位を勝ち取る鍵：オープン&クローズ戦略と標準化の役割」

③IDEC株式会社 名誉顧問 Chief Safety, Health and Well-being Officer

藤田 俊弘 様

「経営戦略として国際標準化を推進した25年に亘る体験談あれこれ」



2 予想される事業実施効果

①ISO/TC150/SC7幹事国業務委員会、ISO/TC150国内委員会、そしてISO/TC206幹事国業務委員会・国内委員会での検討を続け、ファインセラミックス関連の特性試験方法や評価方法の規格を策定することによって、日本企業にとって有効な測定・評価法の確立や粗悪品排除等の成果が期待でき、広範囲の分野で製品の性能向上や普及拡大に貢献できる。

② エキスパート活動を持続可能なものにしていく。

③ 国際標準化活動に対する正しい知識が身に付き、具体的例と共に活用方法を学ぶことができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本ファインセラミックス協会
(ニホンファインセラミックスキョウカイ)

住所： 〒105-0011
東京都港区芝公園一丁目2番6号

代表者： 会長 山口 悟郎 (ヤマグチ ゴロウ)

担当者名： 国際担当部長 小柳 恵子 (コヤナギ ケイコ)

電話番号： 03-3431-8271

F A X： 03-3431-8284

E-mail： koyanagi@jfca-net.or.jp

URL： <https://www.jfca-net.or.jp/>